

# 競 技 上 の 注 意

第33回東アジアホープス卓球大会日本代表選手広島県選考会

審判長 岡本邦彦

## 1. 適用ルールについて

- ・本大会は現行の日本卓球ルールを適用する。
- ・すべて、5ゲームズマッチで行う。
- ・タイムアウト制は採用しない。

## 2. 競技領域への立ち入り制限とアドバイザー

- ・日卓登録している1名がベンチにアドバイザーとして入ることができる。  
アドバイザーは1マッチ毎1名で途中交代はできない。
- ・1人のアドバイザーが同時に複数の選手のアドバイザーを兼務することはできる。  
その場合、アドバイザーが移動し、選手はコートを離れてはいけない。

## 3. 用具について

- ・ボールはJTТА公認プラスチック球40mmホワイトニッタクプレミアムクリーンを使用する。
- ・外国製ラケットでJTТАAのマークのないものを使用する場合は、あらかじめ審判長に使用許可を受けること。
- ・接着剤を含むラバーの厚さが4mmを超えるものは使用できない。また、ラバー表面の平坦性が損なわれていたり、物理的処理や化学的処理が施されていたりしてはならない。

## 4. ラケット検査について

- ・いくつかの試合についてマッチの前にラケット検査を行う。マッチ前の検査において違反と判断されたラケットは大会終了まで審判長が保管する。

## 5. 服装について

- ・ゼッケンは2023年度の日本卓球協会指定のものを着用すること。

## 6. 表彰について

- ・本大会は予選会なので、表彰はありません。本大会出場権を得た方は、本部で資料を受け取り、持ち帰って後日手続きを行うこと。

## 7. 審判について

- ・リーグ戦は同じリーグ内の選手同士で相互審判とし、トーナメントの最初は本部から指名するのでご協力お願いします。その後は敗者審判とします。

以上